令和 2 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　秋田県　　総務省

ー 目次 ー

市町村・組合名	病院名	ページ
-	循環器・脳脊髄センター	2
-	リハビリテーション・精神医療センター	3
秋田市	秋田総合病院	4
横手市	横手病院	5
横手市	大森病院	6
大館市	総合病院	7
大館市	扇田病院	8
男鹿市	男鹿みなと市民病院	9
大仙市	大曲病院	10
北秋田市	北秋田市民病院	11
北秋田市	阿仁病院	12
北秋田市	米内沢総合病院	13
仙北市	田沢湖病院	14
仙北市	角館総合病院	15
羽後町	羽後病院	16

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名	秋田県

市町村・組合名	
病院名	循環器・脳脊髄センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		959,502
決算規模（千円）		667,176,284
標準財政規模（千円）		323,469,355
財政力指数		0.32157
経常収支比率（%）		93.4
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.8
	将来負担比率（%）	251.7

修正医業収支の状況

修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,150			
1 経常収益	1,150			
（1）医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	1,150			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,150			
2 経常費用	1,150			
（1）医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	62.1	67.4
② 材料費	-	-	25.3	17.7
（うち薬品費）	-	-	13.5	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.4	8.8
③ 減価償却費	-	-	9.5	10.7
④ 経費	-	-	22.7	29.2
（うち委託料）	-	-	12.6	13.9
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（2）医業外費用	1,150			
（うち支払利息）	1,150	-	1.3	1.5
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	84.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
（1）有形固定資産	-
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
2 流動資産	-
（1）現金及び預金	-
（2）未収金及び未収収益	-
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
2 流動負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
（1）長期前受金	-
（2）長期前受金収益化累計額（△）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名	秋田県

市町村・組合名	
病院名	リハビリテーション・精神医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		959,502
決算規模（千円）		667,176,284
標準財政規模（千円）		323,469,355
財政力指数		0.32157
経常収支比率（%）		93.4
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.8
	将来負担比率（%）	251.7

修正医業収支の状況

修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	111,477			
１ 経常収益	111,477			
（１）医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（２）医業外収益	111,477			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	111,477			
２ 経常費用	111,477			
（１）医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	62.1	63.5
② 材料費	-	-	25.3	24.9
（うち薬品費）	-	-	13.5	12.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.4	11.8
③ 減価償却費	-	-	9.5	10.0
④ 経費	-	-	22.7	21.7
（うち委託料）	-	-	12.6	12.2
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（２）医業外費用	111,477			
（うち支払利息）	111,477	-	1.3	1.4
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	-
１ 固定資産	-
（１）有形固定資産	-
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	-
（１）現金及び預金	-
（２）未収金及び未収収益	-
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	-
１ 固定負債	-
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	-
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	-
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	-
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	-
（１）長期前受金	-
（２）長期前受金収益化累計額（△）	-
資本合計	-
１ 資本金	-
２ 剰余金	-
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名	秋田県

市町村・組合名	秋田市
病院名	秋田総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		307,672
決算規模（千円）		181,102,641
標準財政規模（千円）		73,040,581
財政力指数		0.67
経常収支比率（%）		91.5
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.1
	将来負担比率（%）	77.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,484			
１ 経常収益	11,484			
（１）医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（２）医業外収益	11,484			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	11,484			
２ 経常費用	11,484			
（１）医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	62.1	59.8
② 材料費	-	-	25.3	27.7
（うち薬品費）	-	-	13.5	14.8
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.4	12.4
③ 減価償却費	-	-	9.5	8.2
④ 経費	-	-	22.7	19.2
（うち委託料）	-	-	12.6	10.2
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（２）医業外費用	11,484			
（うち支払利息）	11,484	-	1.3	1.2
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	-
１ 固定資産	-
（１）有形固定資産	-
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	-
（１）現金及び預金	-
（２）未収金及び未収収益	-
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	-
１ 固定負債	-
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	-
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	-
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	-
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	-
（１）長期前受金	-
（２）長期前受金収益化累計額（△）	-
資本合計	-
１ 資本金	-
２ 剰余金	-
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
秋田県

市町村・組合名	横手市
病院名	横手病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,112 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数

(%･日)

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	225	64.5	74.7	75.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	229	63.4	73.4	74.2
平均在院日数（一般病床のみ）		10.8	12.2	12.0

設立団体の状況

人口 (人)		85,555
決算規模 (千円)		66,130,781
標準財政規模 (千円)		30,531,744
財政力指数		0.33
経常収支比率 (%)		92.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.0
	将来負担比率 (%)	14.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	86.7
修正医業収益 (千円)	4,399,665

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	347,909	300,805
資本勘定繰入	190,635	135,063
計	538,544	435,868

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	3.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,073,644			
１ 経常収益	4,971,734			
（１）医業収益	4,507,163			
① 入院収益	2,790,222			
② 外来収益	1,369,878			
診療収入計	4,160,100			
③ その他医業収益	347,063			
（うち他会計負担金）	107,498			
（２）医業外収益	464,571			
（うち国・都道府県補助金）	248,503			
（うち他会計補助・負担金）	193,307			
（うち長期前受金戻入）	585			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	101,910			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	5,210,348			
２ 経常費用	5,108,385			
（１）医業費用	5,076,012			
① 職員給与費	2,827,176	62.7	62.1	66.1
② 材料費	1,005,397	22.3	25.3	19.8
（うち薬品費）	481,540	10.7	13.5	10.0
（うち薬品費以外の医薬材料費）	522,338	11.6	11.4	9.3
③ 減価償却費	335,971	7.5	9.5	10.2
④ 経費	894,964	19.9	22.7	28.2
（うち委託料）	335,528	7.4	12.6	13.6
⑤ 研究研修費	7,707			
⑥ 資産減耗費	4,797			
（２）医業外費用	32,373			
（うち支払利息）	31,308	0.7	1.3	1.6
（３）特別損失	101,963			
損益 経常損益	-136,651			
損益 純損益	-136,704			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.3		101.9	99.9
医業収支比率	88.8		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	5.9		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	91.4		89.3	86.6

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	11,895,519
１ 固定資産	6,643,396
（１）有形固定資産	6,634,769
（２）無形固定資産	1,027
（３）投資その他の資産	7,600
２ 流動資産	5,252,123
（１）現金及び預金	4,034,303
（２）未収金及び未収収益	1,150,344
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	67,476
３ 繰延資産	-
負債合計	6,607,655
１ 固定負債	5,111,496
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,114,191
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	997,305
（７）リース債務	-
２ 流動負債	1,331,230
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	652,817
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	256,304
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	349,773
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	164,929
（１）長期前受金	832,909
（２）長期前受金収益化累計額（△）	667,980
資本合計	5,287,864
１ 資本金	5,475,946
２ 剰余金	-188,082
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-188,082
負債・資本合計	11,895,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
秋田県

市町村・組合名	横手市
病院名	大森病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,564 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	13	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	87.9	95.2	95.4
療養	50	76.3	89.3	89.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	84.0	93.2	93.3
平均在院日数（一般病床のみ）		32.3	34.2	35.4

設立団体の状況

人口（人）		85,555
決算規模（千円）		66,130,781
標準財政規模（千円）		30,531,744
財政力指数		0.33
経常収支比率（%）		92.1
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.0
	将来負担比率（%）	14.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率（%）	84.9
修正医業収益（千円）	2,027,184

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	257,316	205,915
資本勘定繰入	152,939	142,647
計	410,255	348,562

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	3.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,450,337			
１経常収益	2,438,187			
（１）医業収益	2,065,175			
①入院収益	1,450,591			
②外来収益	446,228			
診療収入計	1,896,819			
③その他医業収益	168,356			
（うち他会計負担金）	37,991			
（２）医業外収益	373,012			
（うち国・都道府県補助金）	158,276			
（うち他会計補助・負担金）	167,924			
（うち長期前受金戻入）	4,619			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	12,150			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,436,904			
２経常費用	2,424,753			
（１）医業費用	2,389,116			
①職員給与費	1,389,403	67.3	62.1	67.4
②材料費	302,265	14.6	25.3	17.7
（うち薬品費）	132,150	6.4	13.5	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	164,717	8.0	11.4	8.8
③減価償却費	129,195	6.3	9.5	10.7
④経費	546,373	26.5	22.7	29.2
（うち委託料）	241,240	11.7	12.6	13.9
⑤研究研修費	3,906			
⑥資産減耗費	17,974			
（２）医業外費用	35,637			
（うち支払利息）	35,395	1.7	1.3	1.5
（３）特別損失	12,151			
損益　経常損益	13,434			
損益　純損益	13,433			
累積欠損金	521,045			
経常収支比率	100.6		101.9	100.3
医業収支比率	86.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	92.1		89.3	84.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	11,895,519
１固定資産	6,643,396
（１）有形固定資産	6,634,769
（２）無形固定資産	1,027
（３）投資その他の資産	7,600
２流動資産	5,252,123
（１）現金及び預金	4,034,303
（２）未収金及び未収収益	1,150,344
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	67,476
３繰延資産	-
負債合計	6,607,655
１固定負債	5,111,496
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,114,191
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	997,305
（７）リース債務	-
２流動負債	1,331,230
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	652,817
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	256,304
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	349,773
（９）前受金及び前受収益	-
３繰延収益	164,929
（１）長期前受金	832,909
（２）長期前受金収益化累計額（△）	667,980
資本合計	5,287,864
１資本金	5,475,946
２剰余金	-188,082
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-188,082
負債・資本合計	11,895,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名	秋田県

市町村・組合名	大館市
病院名	総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	43,439 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感　災
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	375	63.0	69.0	70.6
療養	-	-	-	-
結核	6	-	-	-
精神	60	41.9	48.3	47.1
感染症	2	-	-	-
計	443	59.0	65.0	66.2
平均在院日数（一般病床のみ）		12.1	12.0	12.3

設立団体の状況

人口（人）		69,237
決算規模（千円）		50,529,319
標準財政規模（千円）		21,953,497
財政力指数		0.42
経常収支比率（%）		93.3
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.4
	将来負担比率（%）	87.5

修正医業収支の状況

修正医業収支比率（%）	86.8
修正医業収益（千円）	8,755,417

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,216,649	1,230,108
資本勘定繰入	297,949	302,892
計	1,514,598	1,533,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	98,812	1.0
平成30年度	85,253	0.9

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	19.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	263,295
地財法上の資金不足比率（%）	2.6

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,419,111			
１経常収益	10,237,341			
（１）医業収益	8,884,116			
①入院収益	4,871,420			
②外来収益	3,643,095			
診療収入計	8,514,515			
③その他医業収益	369,601			
（うち他会計負担金）	128,699			
（２）医業外収益	1,353,225			
（うち国・都道府県補助金）	139,058			
（うち他会計補助・負担金）	1,101,409			
（うち長期前受金戻入）	42,585			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	181,770			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	10,839,814			
２経常費用	10,657,878			
（１）医業費用	10,081,671			
①職員給与費	4,763,343	53.6	62.1	59.8
②材料費	2,544,934	28.6	25.3	27.7
（うち薬品費）	1,558,204	17.5	13.5	14.8
（うち薬品費以外の医薬材料費）	929,333	10.5	11.4	12.4
③減価償却費	445,366	5.0	9.5	8.2
④経費	2,297,058	25.9	22.7	19.2
（うち委託料）	1,003,739	11.3	12.6	10.2
⑤研究研修費	16,872			
⑥資産減耗費	14,098			
（２）医業外費用	576,207			
（うち支払利息）	127,245	1.4	1.3	1.2
（３）特別損失	181,936			
損益　経常損益	-420,537			
損益　純損益	-420,703			
累積欠損金	1,952,516			
経常収支比率	96.1		101.9	103.7
医業収支比率	88.1		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	13.8		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	11.8		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	84.5		89.3	93.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	11,520,786
１固定資産	9,048,313
（１）有形固定資産	9,019,399
（２）無形固定資産	11,044
（３）投資その他の資産	17,870
２流動資産	2,472,473
（１）現金及び預金	587,788
（２）未収金及び未収収益	1,839,180
（３）貸倒引当金（△）	2,322
（４）貯蔵品	45,433
３繰延資産	-
負債合計	10,389,425
１固定負債	6,519,608
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,208,008
（２）その他の企業債	300,000
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２流動負債	2,964,316
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	528,548
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	374,618
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	1,350,000
（８）未払金及び未払費用	659,566
（９）前受金及び前受収益	-
３繰延収益	905,501
（１）長期前受金	2,012,503
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,107,002
資本合計	1,131,361
１資本金	2,918,617
２剰余金	-1,787,256
（１）資本剰余金	128,538
（２）利益剰余金	-1,915,794
負債・資本合計	11,520,786
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
秋田県

市町村・組合名	大館市
病院名	扇田病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	9,305 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	62	53.6	74.0	83.3
療養	42	75.0	86.4	89.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	104	62.3	79.0	85.7
平均在院日数（一般病床のみ）		15.1	18.9	18.9

設立団体の状況		
人口 (人)		69,237
決算規模 (千円)		50,529,319
標準財政規模 (千円)		21,953,497
財政力指数		0.42
経常収支比率 (%)		93.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.4
	将来負担比率 (%)	87.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	73.6
修正医業収益 (千円)	1,011,164

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	183,670	183,670
資本勘定繰入	22,287	22,287
計	205,957	205,957

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	98,812	1.0
平成30年度	85,253	0.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	19.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	263,295
地財法上の資金不足比率 (%)	2.6

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,389,591			
１ 経常収益	1,260,805			
（１）医業収益	1,023,683			
① 入院収益	648,035			
② 外来収益	292,505			
診療収入計	940,540			
③ その他医業収益	83,143			
（うち他会計負担金）	12,519			
（２）医業外収益	237,122			
（うち国・都道府県補助金）	13,276			
（うち他会計補助・負担金）	171,151			
（うち長期前受金戻入）	47,717			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	128,786			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,424,484			
２ 経常費用	1,416,312			
（１）医業費用	1,373,528			
① 職員給与費	804,164	78.6	62.1	67.4
② 材料費	132,673	13.0	25.3	17.7
（うち薬品費）	34,979	3.4	13.5	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	85,648	8.4	11.4	8.8
③ 減価償却費	81,909	8.0	9.5	10.7
④ 経費	352,577	34.4	22.7	29.2
（うち委託料）	182,061	17.8	12.6	13.9
⑤ 研究研修費	675			
⑥ 資産減耗費	1,530			
（２）医業外費用	42,784			
（うち支払利息）	430	-	1.3	1.5
（３）特別損失	8,172			
損益 経常損益	-155,507			
損益 純損益	-34,893			
累積欠損金	-			
経常収支比率	89.0		101.9	100.3
医業収支比率	74.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	76.1		89.3	84.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	11,520,786
１ 固定資産	9,048,313
（１）有形固定資産	9,019,399
（２）無形固定資産	11,044
（３）投資その他の資産	17,870
２ 流動資産	2,472,473
（１）現金及び預金	587,788
（２）未収金及び未収収益	1,839,180
（３）貸倒引当金（△）	2,322
（４）貯蔵品	45,433
３ 繰延資産	-
負債合計	10,389,425
１ 固定負債	6,519,608
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,208,008
（２）その他の企業債	300,000
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	2,964,316
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	528,548
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	374,618
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	1,350,000
（８）未払金及び未払費用	659,566
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	905,501
（１）長期前受金	2,012,503
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,107,002
資本合計	1,131,361
１ 資本金	2,918,617
２ 剰余金	-1,787,256
（１）資本剰余金	128,538
（２）利益剰余金	-1,915,794
負債・資本合計	11,520,786
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名	秋田県

市町村・組合名	男鹿市
病院名	男鹿みなと市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	10,936 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	13	指定病院の状況	救 臨 へ
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	145	78.5	79.2	78.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	145	78.5	79.2	78.7
平均在院日数（一般病床のみ）		18.2	18.4	19.5

設立団体の状況		
人口（人）		25,154
決算規模（千円）		19,074,419
標準財政規模（千円）		10,358,416
財政力指数		0.35
経常収支比率（%）		92.9
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.6
	将来負担比率（%）	52.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	89.1
修正医業収益（千円）	2,138,208

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	307,731	320,246
資本勘定繰入	184,612	188,616
計	492,343	508,862

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	5,789	0.3
平成30年度	31,155	1.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	72.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,569,669			
１ 経常収益	2,569,669			
（１）医業収益	2,216,988			
① 入院収益	1,362,338			
② 外来収益	740,015			
診療収入計	2,102,353			
③ その他医業収益	114,635			
（うち他会計負担金）	78,780			
（２）医業外収益	352,681			
（うち国・都道府県補助金）	18,175			
（うち他会計補助・負担金）	241,466			
（うち長期前受金戻入）	84,774			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,525,406			
２ 経常費用	2,525,406			
（１）医業費用	2,400,900			
① 職員給与費	1,405,405	63.4	62.1	67.4
② 材料費	437,358	19.7	25.3	17.7
（うち薬品費）	290,223	13.1	13.5	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	147,135	6.6	11.4	8.8
③ 減価償却費	132,987	6.0	9.5	10.7
④ 経費	420,955	19.0	22.7	29.2
（うち委託料）	222,471	10.0	12.6	13.9
⑤ 研究研修費	1,440			
⑥ 資産減耗費	2,755			
（２）医業外費用	124,506			
（うち支払利息）	39,703	1.8	1.3	1.5
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	44,263			
損益 純損益	44,263			
累積欠損金	1,612,463			
経常収支比率	101.8		101.9	100.3
医業収支比率	92.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	89.1		89.3	84.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円・%）

区分	決算額
資産合計	2,381,095
１ 固定資産	1,871,769
（１）有形固定資産	1,830,565
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	41,204
２ 流動資産	509,326
（１）現金及び預金	117,571
（２）未収金及び未収収益	359,018
（３）貸倒引当金（△）	354
（４）貯蔵品	33,091
３ 繰延資産	-
負債合計	3,750,874
１ 固定負債	1,913,541
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,574,566
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	338,975
（７）リース債務	-
２ 流動負債	766,164
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	287,207
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	75,045
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	290,000
（８）未払金及び未払費用	104,382
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,071,169
（１）長期前受金	1,460,235
（２）長期前受金収益化累計額（△）	389,066
資本合計	-1,369,779
１ 資本金	28,491
２ 剰余金	-1,398,270
（１）資本剰余金	214,193
（２）利益剰余金	-1,612,463
負債・資本合計	2,381,095
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	1,369,779
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	298,610

備考

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
秋田県

市町村・組合名	大仙市
病院名	大曲病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	5,857 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	1	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	１５：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	120	71.3	70.9	82.7
感染症	-	-	-	-
計	120	71.3	70.9	82.7
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		77,657
決算規模（千円）		55,279,465
標準財政規模（千円）		27,976,606
財政力指数		0.34
経常収支比率（%）		90.9
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.6
	将来負担比率（%）	108.3

修正医業収支の状況

修正医業収支比率（%）	66.8
修正医業収益（千円）	545,568

他会計からの繰入状況（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	313,490	313,490
資本勘定繰入	74,838	70,510
計	388,328	384,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	902,759			
１ 経常収益	896,559			
（１）医業収益	545,568			
① 入院収益	463,484			
② 外来収益	78,272			
診療収入計	541,756			
③ その他医業収益	3,812			
（うち他会計負担金）	-			
（２）医業外収益	350,991			
（うち国・都道府県補助金）	8,000			
（うち他会計補助・負担金）	313,490			
（うち長期前受金戻入）	28,042			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	6,200			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	845,010			
２ 経常費用	838,435			
（１）医業費用	816,560			
① 職員給与費	500,883	91.8	62.1	104.8
② 材料費	34,624	6.3	25.3	8.7
（うち薬品費）	25,123	4.6	13.5	6.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	9,501	1.7	11.4	1.3
③ 減価償却費	44,734	8.2	9.5	13.5
④ 経費	235,485	43.2	22.7	33.3
（うち委託料）	99,859	18.3	12.6	18.6
⑤ 研究研修費	784			
⑥ 資産減耗費	50			
（２）医業外費用	21,875			
（うち支払利息）	21,788	4.0	1.3	2.7
（３）特別損失	6,575			
損益 経常損益	58,124			
損益 純損益	57,749			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.9		101.9	101.4
医業収支比率	66.8		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.0		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	57.5		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	34.7		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	69.5		89.3	66.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	1,258,884
１ 固定資産	947,656
（１）有形固定資産	947,357
（２）無形固定資産	299
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	311,228
（１）現金及び預金	205,058
（２）未収金及び未収収益	104,343
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	1,676
３ 繰延資産	-
負債合計	983,890
１ 固定負債	536,196
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	514,958
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	21,238
（７）リース債務	-
２ 流動負債	166,556
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	109,120
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	29,187
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	28,149
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	281,138
（１）長期前受金	604,618
（２）長期前受金収益化累計額（△）	323,480
資本合計	274,994
１ 資本金	134,914
２ 剰余金	140,080
（１）資本剰余金	16,905
（２）利益剰余金	123,175
負債・資本合計	1,258,884
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
秋田県

市町村・組合名	北秋田市
病院名	北秋田市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	27,304 ㎡	不採算地区中核病院	第１種該当
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	224	60.2	60.5	62.4
療養	48	86.2	85.6	80.5
結核	4	12.2	10.8	36.2
精神	40	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	320	55.2	55.3	56.2
平均在院日数（一般病床のみ）		17.8	18.5	18.1

設立団体の状況

人口 (人)		30,198
決算規模 (千円)		28,620,262
標準財政規模 (千円)		13,615,698
財政力指数		0.26
経常収支比率 (%)		95.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.0
	将来負担比率 (%)	71.5

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収益 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	137,091	473,547
資本勘定繰入	93,848	253,196
計	230,939	726,743

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	6258.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	605,110			
１ 経常収益	605,110			
（１）医業収益	59,500			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	59,500			
（うち他会計負担金）	59,500			
（２）医業外収益	545,610			
（うち国・都道府県補助金）	19,153			
（うち他会計補助・負担金）	414,047			
（うち長期前受金戻入）	40,712			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	904,252			
２ 経常費用	904,252			
（１）医業費用	703,047			
① 職員給与費	-	-	62.1	63.5
② 材料費	-	-	25.3	24.9
（うち薬品費）	-	-	13.5	12.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.4	11.8
③ 減価償却費	312,874	525.8	9.5	10.0
④ 経費	390,173	655.8	22.7	21.7
（うち委託料）	245,555	412.7	12.6	12.2
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（２）医業外費用	201,205			
（うち支払利息）	77,945	131.0	1.3	1.4
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-299,142			
損益 純損益	-299,142			
累積欠損金	3,724,070			
経常収支比率	66.9		101.9	101.7
医業収支比率	8.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	78.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	795.9		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	78.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	14.5		89.3	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	5,074,369
１ 固定資産	5,065,869
（１）有形固定資産	4,928,470
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	137,399
２ 流動資産	8,500
（１）現金及び預金	-
（２）未収金及び未収収益	8,500
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	5,833,429
１ 固定負債	4,899,166
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,787,268
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	111,898
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	265,027
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	256,527
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	-
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	8,500
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	669,236
（１）長期前受金	1,248,938
（２）長期前受金収益化累計額（△）	579,702
資本合計	-759,060
１ 資本金	2,965,010
２ 剰余金	-3,724,070
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-3,724,070
負債・資本合計	5,074,369
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	759,060
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	89,824

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名	秋田県

市町村・組合名	北秋田市
病院名	阿仁病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		30,198
決算規模（千円）		28,620,262
標準財政規模（千円）		13,615,698
財政力指数		0.26
経常収支比率（%）		95.4
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.0
	将来負担比率（%）	71.5

修正医業収支の状況

修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	75	1,367
資本勘定繰入	6,893	10,340
計	6,968	11,707

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	6258.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,367			
１ 経常収益	1,367			
（１）医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（２）医業外収益	1,367			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	1,367			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,367			
２ 経常費用	1,367			
（１）医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	62.1	78.9
② 材料費	-	-	25.3	15.6
（うち薬品費）	-	-	13.5	8.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.4	6.0
③ 減価償却費	-	-	9.5	11.7
④ 経費	-	-	22.7	31.2
（うち委託料）	-	-	12.6	14.3
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（２）医業外費用	1,367			
（うち支払利息）	112	-	1.3	1.7
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	-		89.3	76.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	-
１ 固定資産	-
（１）有形固定資産	-
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	-
（１）現金及び預金	-
（２）未収金及び未収収益	-
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	-
１ 固定負債	-
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	-
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	-
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	-
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	-
（１）長期前受金	-
（２）長期前受金収益化累計額（△）	-
資本合計	-
１ 資本金	-
２ 剰余金	-
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名	秋田県

市町村・組合名	北秋田市
病院名	米内沢総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）		30,198
決算規模（千円）		28,620,262
標準財政規模（千円）		13,615,698
財政力指数		0.26
経常収支比率（%）		95.4
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.0
	将来負担比率（%）	71.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,724			
１経常収益	1,724			
（1）医業収益	-			
①入院収益	-			
②外来収益	-			
診療収入計	-			
③その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	1,724			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	1,724			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,724			
２経常費用	1,724			
（1）医業費用	-			
①職員給与費	-	-	62.1	78.9
②材料費	-	-	25.3	15.6
（うち薬品費）	-	-	13.5	8.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.4	6.0
③減価償却費	-	-	9.5	11.7
④経費	-	-	22.7	31.2
（うち委託料）	-	-	12.6	14.3
⑤研究研修費	-			
⑥資産減耗費	-			
（2）医業外費用	1,724			
（うち支払利息）	1,724	-	1.3	1.7
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	-		89.3	76.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円・%）

区分	決算額
資産合計	-
１固定資産	-
（1）有形固定資産	-
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２流動資産	-
（1）現金及び預金	-
（2）未収金及び未収収益	-
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	-
３繰延資産	-
負債合計	-
１固定負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
２流動負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
３繰延収益	-
（1）長期前受金	-
（2）長期前受金収益化累計額（△）	-
資本合計	-
１資本金	-
２剰余金	-
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,149	1,724
資本勘定繰入	5,882	8,823
計	7,031	10,547

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	6258.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
秋田県

市町村・組合名	仙北市
病院名	田沢湖病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	6,006 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	臨
許可公営企業	許可	看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	81.2	79.4	78.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	81.2	79.4	78.5
平均在院日数（一般病床のみ）		111.8	89.9	79.1

設立団体の状況		
人口 (人)		24,610
決算規模 (千円)		25,717,227
標準財政規模 (千円)		11,802,748
財政力指数		0.26
経常収支比率 (%)		95.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.9
	将来負担比率 (%)	121.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	71.2
修正医業収益 (千円)	614,132

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	276,446	276,446
資本勘定繰入	61,259	61,259
計	337,705	337,705

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	468,575	13.4
令和元年度	636,567	16.8
平成30年度	704,554	18.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	171.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	468,575
健全化法上の資金不足比率 (%)	13.4
地財法上の資金不足額 (千円)	808,575
地財法上の資金不足比率 (%)	23.1

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	924,863			
１ 経常収益	919,190			
（１）医業収益	635,017			
① 入院収益	402,877			
② 外来収益	185,756			
診療収入計	588,633			
③ その他医業収益	46,384			
（うち他会計負担金）	20,885			
（２）医業外収益	284,173			
（うち国・都道府県補助金）	18,724			
（うち他会計補助・負担金）	255,561			
（うち長期前受金戻入）	7,943			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	5,673			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	906,327			
２ 経常費用	901,877			
（１）医業費用	862,962			
① 職員給与費	475,038	74.8	62.1	78.9
② 材料費	80,672	12.7	25.3	15.6
（うち薬品費）	39,720	6.3	13.5	8.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	30,025	4.7	11.4	6.0
③ 減価償却費	69,902	11.0	9.5	11.7
④ 経費	237,073	37.3	22.7	31.2
（うち委託料）	62,120	9.8	12.6	14.3
⑤ 研究研修費	249			
⑥ 資産減耗費	28			
（２）医業外費用	38,915			
（うち支払利息）	15,630	2.5	1.3	1.7
（３）特別損失	4,450			
損益 経常損益	17,313			
損益 純損益	18,536			
累積欠損金	1,471,960			
経常収支比率	101.9		101.9	100.3
医業収支比率	73.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	30.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	43.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	29.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	71.3		89.3	76.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	9,930,023
１ 固定資産	9,259,120
（１）有形固定資産	8,858,851
（２）無形固定資産	1,869
（３）投資その他の資産	398,400
２ 流動資産	670,903
（１）現金及び預金	60,681
（２）未収金及び未収収益	593,918
（３）貸倒引当金（△）	5,306
（４）貯蔵品	21,610
３ 繰延資産	-
負債合計	12,083,503
１ 固定負債	10,070,752
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,275,865
（２）その他の企業債	340,000
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	1,454,887
（７）リース債務	-
２ 流動負債	1,712,578
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	573,100
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	156,861
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	750,000
（８）未払金及び未払費用	210,839
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	300,173
（１）長期前受金	876,763
（２）長期前受金収益化累計額（△）	576,590
資本合計	-2,153,480
１ 資本金	3,564,334
２ 剰余金	-5,717,814
（１）資本剰余金	284,598
（２）利益剰余金	-6,002,412
負債・資本合計	9,930,023
不良債務	468,575
実質資金不足額	468,575
資本不足額（△）	2,153,480
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	1,853,307

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
秋田県

市町村・組合名	仙北市
病院名	角館総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	16,034 ㎡	不採算地区中核病院	第１種該当
診療科数	15	指定病院の状況	救臨　災　輪
許可公営企業	許可	看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	170	70.8	83.5	85.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	36	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	206	58.4	68.9	70.4
平均在院日数（一般病床のみ）		15.2	16.2	16.5

設立団体の状況		
人口 (人)		24,610
決算規模 (千円)		25,717,227
標準財政規模 (千円)		11,802,748
財政力指数		0.26
経常収支比率 (%)		95.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.9
	将来負担比率 (%)	121.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	73.1
修正医業収益 (千円)	2,729,845

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	550,567	550,567
資本勘定繰入	202,068	202,068
計	752,635	752,635

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	468,575	13.4
令和元年度	636,567	16.8
平成30年度	704,554	18.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	171.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	468,575
健全化法上の資金不足比率 (%)	13.4
地財法上の資金不足額 (千円)	808,575
地財法上の資金不足比率 (%)	23.1

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,516,342			
１ 経常収益	3,423,927			
（１）医業収益	2,856,476			
① 入院収益	1,650,827			
② 外来収益	990,665			
診療収入計	2,641,492			
③ その他医業収益	214,984			
（うち他会計負担金）	126,631			
（２）医業外収益	567,451			
（うち国・都道府県補助金）	125,554			
（うち他会計補助・負担金）	423,936			
（うち長期前受金戻入）	3,404			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	92,415			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	3,946,132			
２ 経常費用	3,879,432			
（１）医業費用	3,735,276			
① 職員給与費	1,901,091	66.6	62.1	66.1
② 材料費	558,592	19.6	25.3	19.8
（うち薬品費）	251,539	8.8	13.5	10.0
（うち薬品費以外の医薬材料費）	280,025	9.8	11.4	9.3
③ 減価償却費	359,532	12.6	9.5	10.2
④ 経費	871,222	30.5	22.7	28.2
（うち委託料）	274,545	9.6	12.6	13.6
⑤ 研究研修費	42,513			
⑥ 資産減耗費	2,326			
（２）医業外費用	144,156			
（うち支払利息）	13,411	0.5	1.3	1.6
（３）特別損失	66,700			
損益 経常損益	-455,505			
損益 純損益	-429,790			
累積欠損金	4,530,452			
経常収支比率	88.3		101.9	99.9
医業収支比率	76.5		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	19.3		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	15.7		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	74.1		89.3	86.6

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	9,930,023
１ 固定資産	9,259,120
（１）有形固定資産	8,858,851
（２）無形固定資産	1,869
（３）投資その他の資産	398,400
２ 流動資産	670,903
（１）現金及び預金	60,681
（２）未収金及び未収収益	593,918
（３）貸倒引当金（△）	5,306
（４）貯蔵品	21,610
３ 繰延資産	-
負債合計	12,083,503
１ 固定負債	10,070,752
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,275,865
（２）その他の企業債	340,000
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	1,454,887
（７）リース債務	-
２ 流動負債	1,712,578
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	573,100
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	156,861
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	750,000
（８）未払金及び未払費用	210,839
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	300,173
（１）長期前受金	876,763
（２）長期前受金収益化累計額（△）	576,590
資本合計	-2,153,480
１ 資本金	3,564,334
２ 剰余金	-5,717,814
（１）資本剰余金	284,598
（２）利益剰余金	-6,002,412
負債・資本合計	9,930,023
不良債務	468,575
実質資金不足額	468,575
資本不足額（△）	2,153,480
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	1,853,307

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和２年度）

都道府県名
秋田県

市町村・組合名	羽後町
病院名	羽後病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド Ｉ 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	10,299 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救 臨 輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和２年度	令和元年度	平成30年度
一般	58	72.3	51.1	68.4
療養	55	69.3	62.3	45.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	113	70.8	54.7	60.9
平均在院日数（一般病床のみ）		14.0	15.0	16.0

設立団体の状況		
人口 (人)		13,825
決算規模 (千円)		9,752,449
標準財政規模 (千円)		5,342,081
財政力指数		0.26
経常収支比率 (%)		90.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.3
	将来負担比率 (%)	23.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	83.6
修正医業収益 (千円)	1,698,158

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	289,496	360,000
資本勘定繰入	145,180	-
計	434,676	360,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和２年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,181,944			
１ 経常収益	2,170,217			
（１）医業収益	1,728,658			
① 入院収益	1,223,111			
② 外来収益	412,023			
診療収入計	1,635,134			
③ その他医業収益	93,524			
（うち他会計負担金）	30,500			
（２）医業外収益	441,559			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	329,500			
（うち長期前受金戻入）	13,982			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	11,727			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,162,926			
２ 経常費用	2,151,199			
（１）医業費用	2,030,496			
① 職員給与費	1,102,397	63.8	62.1	67.4
② 材料費	341,057	19.7	25.3	17.7
（うち薬品費）	148,375	8.6	13.5	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	172,414	10.0	11.4	8.8
③ 減価償却費	136,805	7.9	9.5	10.7
④ 経費	431,389	25.0	22.7	29.2
（うち委託料）	233,578	13.5	12.6	13.9
⑤ 研究研修費	4,554			
⑥ 資産減耗費	14,294			
（２）医業外費用	120,703			
（うち支払利息）	29,432	1.7	1.3	1.5
（３）特別損失	11,727			
損益 経常損益	19,018			
損益 純損益	19,018			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		101.9	100.3
医業収支比率	85.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	84.1		89.3	84.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,715,123
１ 固定資産	2,352,295
（１）有形固定資産	2,351,600
（２）無形固定資産	695
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	362,828
（１）現金及び預金	51,901
（２）未収金及び未収収益	305,482
（３）貸倒引当金（△）	6,955
（４）貯蔵品	12,400
３ 繰延資産	-
負債合計	1,351,958
１ 固定負債	741,105
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	740,791
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	314
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	393,920
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	198,938
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	74,479
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	120,503
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	216,933
（１）長期前受金	692,673
（２）長期前受金収益化累計額（△）	475,740
資本合計	1,363,165
１ 資本金	1,088,671
２ 剰余金	274,494
（１）資本剰余金	227,315
（２）利益剰余金	47,179
負債・資本合計	2,715,123
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	